

IPv6 Summit in Tokyo 2013 Internet of Things & IPv6

2013年11月25日(月) シスコシステムズ合同会社 テクノロジー&リサーチセンター IoTインキュベーションラボ 今井俊宏

内容

前半

- Internet of Things / Everything の時代へ
- ・イノベーションとビジネスインパクト
- シスコの取組み

後半

・センサーネットワークにおけるIPv6に関する標準化動向

新たな幕開け Internet of Things / Everything と IPv6

IPv4 + NAT **IPv6 Launch** IPv4 **IPv6 Everywhere** Internet of **Mobility / BYOD** "Fixed" computing **Everything** (you go to the (the device goes **Internet of Things** (People, Process, with you) device) Data, Things) 社会と産業全体の デジタル化 第3段階 くの影響度 インタラクションの 第2段階 デジタル化 ビジネスプロセスの 第1段階 と経済 情報の デジタル化 ソーシャルネットワーク デジタル化 ・スマートデバイス · Eコマース 社分 ・クラウドコンピューティング サプライチェーン **Email** 小型・低価格センサー Web 検索 **M2P/P2M** P2P M₂M IoT IoE 1993 2003 2013 2022

© 2011 Cisco and/or its affiliates. All rights reserved.

背景 <u>へ接続されるモノは増加の一</u> インタ コンシューマー 産業 社会基盤 機器 IoE 76億人 63億人 68億人 72億人 世界の人口 接続される 5億 500億 125億 250億 デバイス数 IoT 1人あたりの 0.08 1.84 3.47 6.58 デバイス数 2015 2003 2010 2020 インターネットに接続される 現時点で全世界に1.5兆個あると推定されるモノの内、 デバイス数が、世界人口を超える ネットワークされているのは約1%に過ぎない。

Source: Cisco IBSG, 2011 Cisco Confidential

Internet of Things / Everything の到来





インダストリー ヘルスケア オートモーティブ エナジー

リテール















情報解析アプリケーション

自動化・制御アプリケーション

クラウドサービスプラットフォーム

インターネット(共通インフラ)

M₂M **Machine-to-Machine**

M2P / P2M Machine-to-People / **People-to-Machine**

P₂P People-to-People



















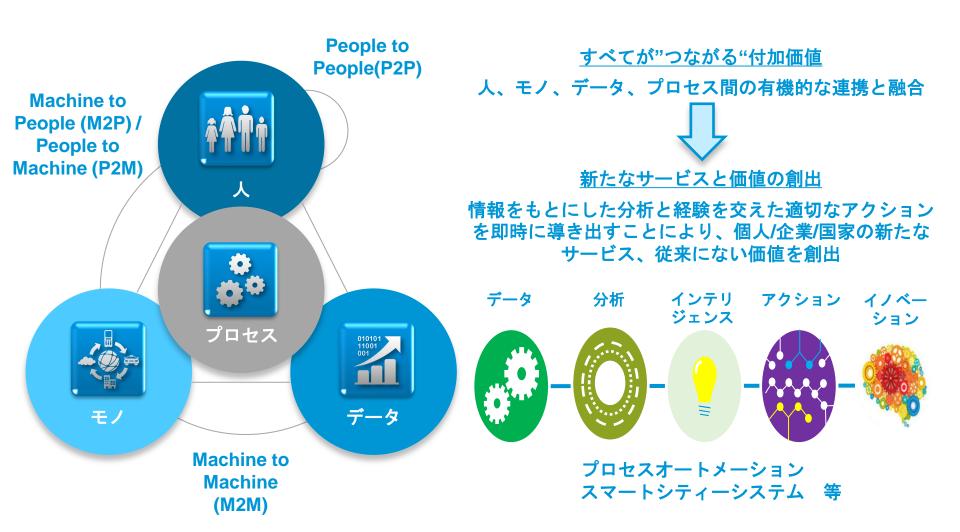




Machine側で情報をダイナミックに発信

人間が主体的に操作して情報を発信

IoE がもたらすイノベーション



© 2010 Cisco and/or its affiliates. All rights reserved.

イノベーションが期待される主な産業領域考察



スマートシティ



パブリック セーフティ



インダストリー



ヘルスケア

対象デバイス10億個以上

- 公共交通
- ・ スマートライティング
- ・ スマートビルディング

対象デバイス1億個以上

- 環境モニタリング
- 放射線量監視
- 水質管理
- 構造物モニタリング
- 緊急時サービス

対象デバイス10億個以上

- ・ロボット
- アセット管理
- 保守、予防保全
- ・スマートタグ
- ・ ロケーションアウェアセーフティー



オートモーティブ

対象デバイス5億個以上

- ・ナビゲーション
- 渋滞管理
- 交通事故回避
- 緊急時サポート
- 診断
- インテリジェントサイネージ



エナジー

対象デバイス数5億個以上

- スマートメーター
- Distribution Automation
- ・ フィールドエリアネットワーク
- EV / PHEV 充電インフラ
- ・ 再生可能エネルギー

対象デバイス1億個以上

- 遠隔医療
- ・ テレメディシン

対象デバイス2億個以上

リテール

- 自動販売機
- · POS端末
- ゲーム機器
- ・スマートタグ

省エネルギー 省資源 トレーサビリティ の確保 オペレーションの 効率化と コスト削減

エクスペリエンス QOLの向上

防犯:防災対策

顧客満足度の 向上

Quality of Service / Quality of Experience / Quality of Life

© 2010 Cisco and/or its affiliates. All rights reserved.

IoEがもたらす民間分野における 今後10年間でのグローバル経済価値予測

<u>想定インパクト</u> \$14.4 trillion *

> * 2013-2022 Trillion = 一兆

\$9.5 trillion 特定産業 (smart grid、 connected commercial vehicles 等)

\$4.9 trillion クロスインダストリー (新しいワークスタイル、 テレワーク 等)

<u>資産活用 \$2.5 trillion</u>

自動化やコスト削減等を通じてビジネス プロセスと資本効率を改善する

> 生産性向上 \$2.5 trillion 労働効率の向上や工数削減等、 生産性の向上を実現する

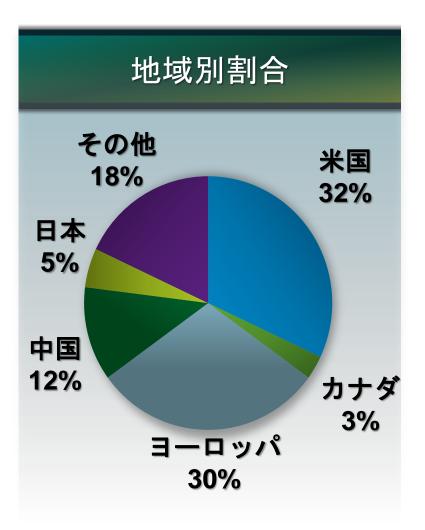
サプライチェーン・物流\$2.7 trillionプロセスの効率を向上させる

カスタマーエクスペリエンス \$3.7 trillion 顧客を増やす事で市場シェアを拡大する

<u>イノベーション \$3.0 trillion</u> 新しいビジネスモデルとビジネス機会から 収益源を生みだす

グローバル企業の収益を約21%改善させる効果が期待

loEがもたらすグローバル経済価値予測 地域別、産業別の割合い



上位6產業分野	
製造業	27%
小売り/商業	11%
情報サービス	9%
金融・保険	9%
医療 (私立)	7 %
教育 (私立)	6%

次世代インターネットエコノミーが日本にもたらす経済価値試算

想定インパクト 76.1 兆円 *

2013~2022年 100円/ドルで換算

価値を高める主な要因



資産活用8.2 兆円



生産性向上4.6 兆円



サプライチェーン ・物流 18.1 兆円



カスタマー エクスペリエンス 21.3 兆円



イノベーション 23.9 兆円

効果が期待される導入事例 上位4

1. スマートファクトリ

13.9 兆円

2. 「つながる」マーケティング・広告

10.7 兆円

3. 製品開発イノベーション

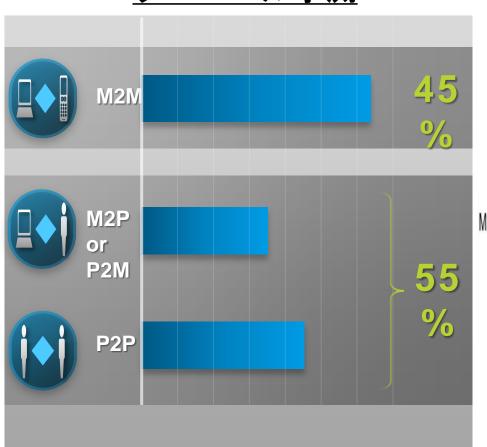
7.1 兆円

4. スマートグリッド・省エネルギー

5.8 兆円

loEがもたらすインパクト どの"つながり"が重要か

グローバル予測



日本の予測

loE エコノミーの経済価値(単位:10 億ドル)



単位:10億ドル

参考 IoT World Forum

Internet of Things
World Forum

・ 日時: 2013年10月29日~31日で開催

場所:スペインのバルセロナ

- Ciscoの主要メンバーと世界のM2M / IoT関連業界有識者から構成されるSteering Committee を組織し企画(2013年2月、サンノゼ)
- ・以下の項目にフォーカスした議論を実施;
 - ビジネスエコシステム
 - 技術、標準化動向
 - 実装技術
 - 業界を跨った協調関係
 - 政策、規制
- ・ バルセロナ・スマートシティーツアー
- ・ 世界各国から約1,000名の参加者
- · 詳細:<u>http://www.iotwf.com/</u>





参考 IoT World Forumからの考察



- ・ 『新価値創造』、『生活の質の向上』、『効率改善』の主に3つの観点からIoTは、ビジネスインパクト、イノ ベーションをもたらし、今が行動を起こすタイミングである。
- モノをインテリジェント化し、大規模なスケールで接続する事で、多くの業界で経営効率が改善されると同時に、新しい経済価値を生み、全体の生活の質が向上すると考えられる。
- ビッグデータは、スマートかつ利用可能なデータになる必要がある。また、データ解析は、マーケットにイノ ベーションをもたらすと考えられる。
- "Pay as You Use"なソリューションは、世界を変えるポテンシャルを秘めていると考えられる。
- リモートアセット管理やロケーションに紐づいたアプリケーションは、大きなビジネスチャンスと考えられる。
- ・ 非ITエンドデバイスとネットワーク化によるOT(Operational Technology)とIT(Information Technology)の統合で連携がイノベーションを生むと考えられる。
- ・ セキュリティー、プライバシー、規制は、IoTが普及する上で、非常に大きなチャレンジとして認識された。
- 標準化は、業界を纏め、イノベーションを加速する上で重要である事が認識された。
- IoTの業界エコシステム(事業生態系)を確立し、相互接続性、標準化、ソリューション開発、試験、等々を 推進する必要がある。
- ・ これまでIoTを取り巻く業界では、IoT の "I" (Internet) に焦点があてられてきたが、"T"(Things) に対しては十分とは言えない状況である為、"T"(Things) に対するより多くの取組みが必要と考えられる。

等々

IoE Twitter Campaign

— 20回記念開催

・3日間の開催期間中、約150のTwitter投稿



紅掛花色 @benikake007





IoEで、私と家がつながる未来! 子供の様子からエアコ ン·警備(ドロボウが入っも警備会社や私に知らせてくれ るので



IoEで、車と車がつながる未来!渋滞がなくなるように 連絡しあって自動で速度調整 cs.co/9004klhg

#cisco_interop



PINK-CAT





yuutoaki

1:32pm via Web

「IoEで、漁船と冷蔵庫がつながる未来!」 新鮮なお魚が食べられる♡#cisco_interop



@pinkcat7070

IoE で、私と冷蔵庫がつながる未来!買い忘れや無駄買 いや賞味期限切れがなくなったらいいな(*´∀`) cs.co/9004klhg #cisco_interop



mopo9

6:15pm via Tweet Button

IoEで、深海と学校の理科室がつながる未来!(子どもたちの科 学離れを食い止める!) cs.co/9004klhg #cisco_interop



soralyco

1:21pm via Tweet Button

IoEで、お店の試着室とおうちのクローゼットがつながる未来! cs.co/9004klhg #cisco interop

IoT・IoEにおける4層アーキテクチャー

データセンター クラウド層



インターネット コアネットワーク 層

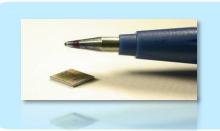




マルチサービス エッジ層



エンドポイント層 組込みシステム ・センサー





© 2010 Cisco and/or its affiliates. All rights reserved.

センサーの世界



予防保全・保守



省エネ・節電・ スマートグリッド



交通 • 輸送管理



スマート ビルディング



生産性向上



環境モニター



食糧生産・ 水資源



セーフティー・セキュリティー



ヘルスケア



スマートホーム・スマートコミュニティー

IoT / IoE に向けて末端までIPv6で繋ぐ



垂直統合型·閉鎖的 (1990-2007) 標準化、IPv6 (2007-2012)

IoTアーキテクチャー

導入

接続数:少ない

分散型インテリジェンスと末端までIPv6で全てを繋ぐ 水平統合型プラットフォーム

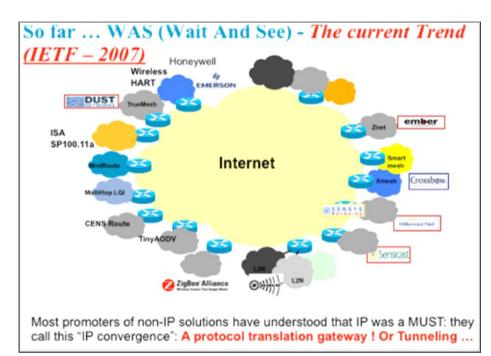
これまで......

- 各々のマーケット・業種に応じた垂直 統合型ソリューション
- ベンダー固有技術等による囲い込み や閉鎖的ソリューション



これから.....

- IPによる水平統合型モデルの構築
- 末端までIPv6で全てを繋ぐ
- 標準技術によるオープンなイノベー ションとエコシステム



IP, Standards! Cisco's Position in 2007 Thank you.

CISCO